

J R 西労組 第 4 4 回中央委員会開催



挨拶を行う 羽野委員長



1月29日(木)、ホテルマイステイズ新大阪において、「JR西労組第44回中央委員会」が開催され、中央委員として神戸地本 石原書記長、神戸支部 東副委員長、姫路支部 鳴瀬執行委員が出席した。また地本、支部、青年女性委員の代表者約30名が傍聴として参加した。

羽野委員長より、安全について、2026春季生活闘争について、人財確保と労使関係についての挨拶をいただき、特に安全についてはABC運動の浸透の継続に尽力していくと力強く宣言された。議論と議事では、昨年の本部大会以降の運動の総括と2026春闘を中心とした活動方針(案)が提起された。その後、各地本から発言があり、神戸地本を代表して、神戸支部 東副委員長が、安全について、定年延長も見据えた働き方の再構築について、春闘についての、3点について力強く発言を行い、提案された方針を補強した。川端書記長による総括答弁の後、委員会スローガンをはじめとする全ての議事が満場一致で承認され、2026春闘方針が決定した。最後に、羽野委員長の団結ガンバローで閉会した。

2026春闘 勝利に向けて一致団結しよう！

「第13回本部綱引き大会」出場

1月21日(水)~22日(木)に、和歌山地本準備のもと、和歌山県白浜町立総合体育館において、「第13回本部綱引き大会」が開催され、神戸地本代表として明石車掌区分会が出場し、団結を深めました。



2026 春闘 要求！！

- ① 年度初における基準昇給の完全実施
- ② ベースアップ 16,000 円
(シニア・シニアリーダー社員、グランドシニア社員含む)
- ③ 年間臨給 5.7 箇月 (夏季・期末ともに 2.85 箇月)
- ④ エリア手当の増額
- ⑤ 扶養手当の支給要件見直し (所得合計額の引き上げ)
- ⑥ 55 歳以降の基本給調整率の廃止
- ⑦ 第二基本給制度の廃止
- 【シニア・シニアリーダー・グランドシニア】
- ⑧ 満了給付金を社員と同等に支給
- ⑨ 扶養手当の新設
- ⑩ 精励手当の増額
- 【契約社員】
- ⑪ 全ての契約社員時給 105 円 UP
- ⑫ 精励手当の増額

その他、職務手当、福利厚生、働き方に関わる課題を57項目にまとめて要求する。



神戸地本を代表し発言する 神戸支部 東副委員長



開会挨拶を行う

本部 川原副委員長

編集部より一言

2026年も始まりもう2か月にになりました。寒い日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか？「元気があればなんでもできる」ということで体調管理に努めていきましょう。

さて、編集部より一言のネタについて悩んでいる今日この頃。サッカー以外趣味もなく、世間を知らない無知な私なのですが、今日は、組合活動でも大事な「言葉」についての内容ですので、最後まで読んでいただければ幸いです。今回はサッカー選手の名言です。

- ① ゴールキーパーはワインと同じ。年を重ねるほど味がでる。…40歳で出場したW杯の時に、高齢への批判を跳ね返し経験の重要性を説いた(イタリア代表・ディノ・メウツァの名言)
- ② PKを外すことができるのは、PKを蹴る勇気をもったものだけだ…実際にW杯決勝でPKを失敗した後の発言、失敗を恐れずに挑戦する人を称える名言(イタリア代表・ロベルト・バッジョ)
- ③ いい攻撃はいい守備を生まないと、いい守備はいい攻撃を生む…まずは、守備から考えるのが大事で、守備をすることで攻撃もうまくいくという名言(自分が指導していたいたコーチ)

まだまだ、サッカー選手の名言はありますが、今回は、以上になります。なお、最後の名言は、私が中学生の時に指導していただいた人(元日本代表選手の親)の名言です。当時はあまり思わなかったのですが、今はこの名言がよく理解できるようになりました。なお、この名言につながる組合活動の名言として、本部からの講義の時に「いい組合はいい会社を作る」と力強い言葉を聞いた時に、このコーチの名言を再び意識するようになりました。

皆様も心に残っている言葉・名言はありますか？ぜひとも仲間との会話で話しをしてみてください。(誰も待っていないかもしれませんが)次回の「編集部より一言」も楽しみに